

第 19 回 NPO 法人てくてく通常総会

○日時 2021(令和3)年6月5日(土)
10:30~11:30

○場所 てくてく「みんなの家」2階 多目的室

○審議事項

第1号議案 令和2度事業報告(案)

第2号議案 令和2度決算報告(案)

監査報告

第3号議案 令和3度事業計画(案)

第4号議案 令和3年度収支予算(案)

第5号議案 役員退任及び選任について(案)

その他

2020（令和2）年度 事業報告（案）

I. 全体を通して

2020（令和2）年度を振り返ると、年間を通して新型コロナウイルス感染拡大に対する対応に追われた一年間であったと言える。国の緊急事態宣言期間中はガイドヘルプの実施が困難であったことを始め、他の事業においても通常通りの支援が難しい状況が続いたが、感染防止対策に最大限留意しながら、何とか事業を完全に止めなければならないような事態は避けることができた。

以下、昨年度事業計画での「重点課題」各項目について、詳細を述べる。

II. 「重点課題」に対する評価

1. 「新型コロナウイルス禍での財政面への影響を踏まえ、支出の削減及び資金の確保のためにできる限りの対応を行う」について

理事長・本部長給与の削減を4月から7月までの間実施した。（収支状況を踏まえ理事会での検討を経て8月より元の給与に戻すこととした。）実質的に削減額は大きくはないが、法人内外に危機感を意識づけることには繋がったと考えている。

4月より正規職員の勤務にフレックスタイム制を導入すると同時に、キングオブタイム（クラウド型勤怠管理システム）による出退勤管理システムも採用したことで、時間管理への意識が高まり、勤務時間の使い方や業務の取り組み方を自ら考えようという意識が定着し、結果として一定の超過勤務削減に繋がった。

処遇改善加算Ⅰ・特定処遇改善加算を取得し、コロナ禍による影響はあったものの感染防止対策を徹底し年間を通して事業を継続できたことにより増収を図り、職員・登録スタッフの処遇改善（給与見直し、一時金支給）に繋げることができた。

新型コロナ感染症対策としては「新型コロナ感染症緊急包括支援事業」による補助金を受け、従業者への「慰労金」（69名に50,000円/1人・計3,450,000円）を支給。「対策支援金」（計2,300,000円）を活用しリモート勤務のための環境整備、パーティション・空気清浄機・アルコール噴霧器の設置等の感染予防対策を実施した。

2. 「人材確保・育成を引き続き最重点課題と位置づけ、法人全体で取り組む」について

4月より新採用職員3名が入職、グループホームの支援を中心に業務を行ってもらった。副事業長から1名を育成担当に指名し、個別の業務目標の設定と定期的な面談を実施、日々の業務の振り返りフォローアップを年間を通じて行った。各々が1年間の経験を経て職員として定着・成長することができている。

年度末に職員1名が退職することとなったが、登録スタッフより1名を職員として採用することができた。

一方で全職員に対するキャリアパスを踏まえた個別の研修計画の策定は、コロナ禍への対応に追われたこともあり実施に至らなかった。

またフレックスタイム制の導入や産休・育休の取得事例は、法人として今後の人材定着のために必要な環境整備について考える有意義な経験となった。

登録スタッフについて、現登録スタッフや家族などを通じた紹介等により新たに12名の方に支援に加わって頂いた。一方で退職された方が8名おられ、人材不足が解消されたとは言えず、特に女性の確保は引き続き大きな課題である。

3. 「「あっとホーム」の「建て貸し方式」による移転を進める。」について

1件はオーナー様と積水ハウスとの間で検討を継続して頂いている。今後タイムスケジュール等も含め、具体的な検討を進めていきたい。

その他、建築検討をされているオーナー情報等も複数上がってきており、今後具体的な条件面の確認等を行い、進めていけるかどうかの判断をしていきたいと考えている。

現在あっとホームで生活をされている皆さんの意向や希望はもちろん、地域のニーズも踏まえ、移転に向けた具体的な検討を丁寧に進めていく必要がある。

4. 「てくてく「中長期計画」の策定を進める」について

2020年度中は策定の検討を再開するには至らなかった。コロナ禍の収束への目途が未だ立たない中ではあるが、検討方法の見直し等も含め2021年度中には動きを作っていきたい。

5. 「各事業の支援を継続して実施する。」について

コロナ禍の中で国が求める「サービスの継続的な提供」については、一部困難な状況はあったものの、年間を通じて実施することができた。

登録スタッフ（ヘルパー・世話人・支援員）の確保・育成について、情報発信や確保に向けた取り組みは例年に比べると十分行うことはできなかった。毎月実施予定だったヘルパー研修や登録スタッフ研修も新型コロナウイルスの感染状況や非常事態宣言等により開催できない事も多かったが、ZOOMを活用したりリモート開催など出来る形を模索しながら、可能な限りの実施に努めた。

支援に必要な研修（強度行動障害従事者、重度訪問介護従事者、移動支援従事者の養成研修等）への受講もコロナ対策による定員制限等もあり十分受講できたとは言い難い。

引き続き登録スタッフの確保について、重点課題として取り組む必要がある。

6. 「『より良い支援』を目指して、研修を充実させる。」について

専門的な機関・団体（自閉症eサービス等）が開催する研修については研修自体が開催されない状況もあったが、機会を捉えて新人職員を中心に参加することはできている。

「てくてくフォーラム」「全体研修」「拡大版登録スタッフ研修」については新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送った。また毎月のあっとホームやにこりんのスタッフ・ヘルパー研修も実施できないことが多かった。一部リモートによる開催を行ってきたが、今後各部署でもリモート開催も含めた実施方法の工夫が必要であると考えられる。

7. 「乙訓圏域や全国の情勢・制度の動向について情報を収集するとともに「てくてく」からの課題の発信を行います。」について

乙訓圏域障がい者自立支援協議会や乙訓障害者支援事業所連絡協議会（乙障協）等、乙訓圏域でのネットワークに関わる取り組みもコロナ禍の中であまり実施されていないのが現状である。

広報としては春・秋の通信やホームページ、フェイスブックページの活用により、「てくてく」での活動の様子を発信できるよう心がけた。

以上

2. 事業及び活動の実施状況

事業名	サービス種別	利用実績	給付費収入 (単位：円)	実施期間・時期	場所	受益対象者の 範囲及び人数	
にこりん	居宅介護	延べ7,525人 延べ7,328時間	50,302,691	令和2年4月～ 令和3年3月	乙訓地域 及び京都市 (桂川西岸地域) ※日帰りできる範囲	利用者 70名	職員・登録 スタッフ 63名
	重度訪問介護	延べ2,313人 延べ6,321時間	22,935,558				
	行動援護	延べ238人 延べ846時間	4,246,843				
	移動支援	延べ337人 延べ1,098時間	2,457,801				
	入院時コミュニケーション支援	延べ13人 33.5時間	67,000				
	緊急一時保護事業	利用無し	0				
あっとホーム どんぐり ジャンプ つばさ 翔 たんぼぼ城の里	共同生活援助事業	延べ6,603人	60,397,663	令和2年4月～ 令和3年3月	長岡京市井ノ内	女性5名	職員・登録 スタッフ 80名
				令和2年4月～ 令和3年3月	大山崎町高麗田	男性4名	
				令和2年4月～ 令和3年3月	向日市上植野町	女性4名	
				令和2年4月～ 令和3年3月	長岡京市今里	男性4名	
				令和2年4月～ 令和3年3月	長岡京市城の里	女性4名 (体験利用1名)	
あっとハック いちもんばし	短期入所事業	延べ768人	9,027,660	令和2年4月～ 令和3年3月	長岡京市一文橋 (みんなの家1階)	利用者38名	職員・登録 スタッフ 22名
	緊急一時保護事業	0人	0	令和2年4月～ 令和3年3月	長岡京市一文橋 (みんなの家1階)	利用無し	職員・登録 スタッフ 22名
あっとハック しろのさと	短期入所事業	延べ138人	1,748,361	令和2年4月～ 令和3年3月	長岡京市城の里 (あっとホーム たんぼぼ城の里内)	利用者4名	職員・登録 スタッフ 12名
ばれっと	相談支援事業	延べ80人	1,125,016	令和2年4月～ 令和3年3月	乙訓地域及び京都市 (西京区)	利用者14名	
収益事業	賃貸事業	12ヶ月	1,440,000	令和2年4月～ 令和3年3月	向日市上植野町	女性4名	
	私費利用	延べ80人 延べ51時間	144,800	令和2年4月～ 令和3年3月	乙訓地域及び京都市 (桂川西岸地域) ※日帰りできる範囲	男性2名 女性3名	

事業及び活動名	内容		実施期間・時期	場所	受益対象者の 範囲及び人数
コロぼっくる	地域 交流 活動 プロジェクト	みんなの交流会(温泉、ほたろう祭り準備、他)			活動中止
		バンド	音		活動中止
親睦活動	フ ロ シ エ ク タ ク 	ほたろう祭り	令和2年10月		開催中止
		たまぼっくる	令和3年1月		開催中止
研修会	てくてく全体研修会		令和3年2月		開催中止
	てくてくフォーラム		令和2年9月		開催中止
	登録スタッフ研修会		未実施		
	ヘルパー研修会		6月・7月・9月・10 月 (他は中止)	みんなの家	登録スタッフ・職員 計62名
	あっとホームスタッフ研修会		33回 (内リモート9回)	各グループホーム みんなの家	登録スタッフ・職員 計279名(内リモート46名)

部門別実績収支報告書

収入の部

単位：円

科目	区分	NPO法人てくてく						収益事業	合計
		法人	にこりん	あつとホーム	あつとハックしろのさと	あつとハックいちもんぼし	ばれつと		
事業収入		-	79,869,114	66,337,663	1,880,661	9,869,710	1,125,016	1,584,800	160,666,964
給付費収入		-	79,869,114	60,397,663	1,748,361	9,027,660	1,125,016	-	152,167,814
緊急一時		-	-	-	-	-	-	-	-
サービス利用料収入		-	-	-	67,200	461,350	-	-	528,550
私費サービス利用収入		-	-	-	-	-	-	144,800	144,800
給食費収入		-	-	-	65,100	380,700	-	-	445,800
家賃収入		-	-	5,940,000	-	-	-	1,440,000	7,380,000
会費収入		32,000	-	-	-	-	-	27,000	59,000
寄付金収入		553,300	-	-	-	-	-	-	553,300
事業外収入		122,372	105,400	300,000	-	122,000	100,000	63	749,835
受取利息		122,372	-	-	-	-	-	63	122,435
雑収入		-	105,400	300,000	-	122,000	100,000	-	627,400
収入合計		707,672	79,974,514	66,637,663	1,880,661	9,991,710	1,225,016	1,611,863	162,029,099

支出の部

科目	区分	NPO法人てくてく						収益事業	合計
		法人	にこりん	あつとホーム	あつとハックしろのさと	あつとハックいちもんぼし	ばれつと		
人件費		5,548,207	50,648,203	48,969,667	455,780	13,426,024	3,905,850	463,806	123,417,537
退職金掛金		-	720,000	480,000	-	240,000	-	-	1,440,000
法定福利費		621,082	4,728,014	3,885,902	50,835	1,580,155	606,994	51,730	11,524,712
管理費		1,612,716	1,340,297	1,003,836	91,150	733,342	601,024	578,059	5,960,424
地代家賃		120,000	360,000	5,290,000	130,000	960,000	120,000	240,000	7,220,000
保険料		502,500	499,264	197,623	23,273	196,858	45,030	30,480	1,495,028
減価償却費		3,377,166	198,969	2,086,713	-	558,320	-	253,777	6,474,945
リース減価償却費		-	272,160	-	-	-	-	-	272,160
食材仕入れ		-	-	-	49,500	325,752	-	-	375,252
活動費		10,500	-	-	-	-	-	-	10,500
研修費		-	256,890	3,000	38,440	107,670	3,000	-	409,000
委託契約料		1,415,700	33,000	100,800	4,800	14,400	-	54,000	1,622,700
企画調査費		-	-	-	-	-	-	-	-
修繕費		-	335,800	350,970	-	30,537	1,500	49,200	768,007
求人活動費		-	-	-	-	-	-	-	-
支出合計B		13,207,871	59,392,597	62,368,511	843,778	18,173,058	5,283,398	1,721,052	160,990,265
過不足額A-B		-12,500,199	20,581,917	4,269,152	1,036,883	-8,181,348	-4,058,382	-109,189	1,038,834

損 益 計 算 書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月31日

(税込)
(単位：円)

《経常損益の部》

[営業損益の部]

【売上高】

給付費収入	152,167,814
利用者負担収入	673,350
給食費収入	445,800
寄付金収入	553,300
会費収入	59,000
家賃収入	7,380,000
	7,380,000

売上高 計

161,279,264

【売上原価】

期首商品・製品棚卸高	0
仕入高	375,252
	375,252
当期商品仕入高	375,252
合 計	375,252
	375,252
期末商品・製品棚卸高	0

売上原価 計

375,252

売上総利益

160,904,012

【販売費一般管理費】

販売費・一般管理費計	160,615,013
	160,615,013

営業利益

288,999

[営業外損益の部]

【営業外収益】

受取 利息	122,435
雑 収 入	627,400
	627,400
営業外収益 計	749,835

【営業外費用】

営業外費用 計	0
	0

経常利益

1,038,834

《特別損益の部》

【特別利益】

特別利益 計	0
	0

【特別損失】

特別損失 計	0
	0

当期収支差額

1,038,834

当期収支差額

1,038,834

前期繰越収支差額

273,791,958

次期繰越収支差額

274,830,792

貸借対照表

令和 3年 3月31日現在

(税込)
(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未払金	11,141,509
現金	91,192	前受金	325,000
普通預金	126,669,237	預り金	431,411
定期預金	34,508,679	流動負債計	11,897,920
現金・預金計	161,269,108	【固定負債】	
(有価証券)		預り保証金	400,000
有価証券	10,000,000	リース負債	907,200
有価証券計	10,000,000	固定負債計	1,307,200
(その他流動資産)		負債の部合計	13,205,120
前払費用	1,564,988	資 本 の 部	
未収収益	26,871,619	【資本金】	
差入保証金	7,600	資本金計	0
その他流動資産計	28,444,207	【正味財産の部】	
流動資産合計	199,713,315	繰越正味財産	274,830,792
【固定資産】		(当期正味財産増加額)	1,038,834
(有形固定資産)		正味財産計	274,830,792
建物	59,162,478	資本の部合計	274,830,792
造作	5,591,434		
建物付属設備	55,656,853		
構築物	5,134,199		
車両運搬具	4,207,685		
工具器具備品	9,385,243		
減価償却累計額	△63,564,427		
土地	11,841,932		
リース資産	907,200		
有形固定資産計	88,322,597		
固定資産合計	88,322,597		
資産の部合計	288,035,912	負債・資本の部合計	288,035,912

NPO法人てくてくの令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日）の財産目録・貸借対照表及び収支計算書について以上
のとおり報告いたします。



令和3年5月18日

理事長 尾瀬 順次 

監査の結果、いずれも報告書のとおり相違ありません。

令和3年5月18日

監事 今井 千代子 

監事 竹田 美津子  

2021（令和3）年度 事業計画（案）

I. 全体を通して

今年度も新型コロナウイルス感染拡大による運営面への影響は避けられない状況でのスタートとなった。昨年度に掲げた重点課題にも取り組みを進めることができなかつた項目も多く、今年度の重点課題についても継続の課題としたものが多くなっている。

また今春の報酬改定によって法人・事業所に新たに課せられた課題もあり、思うようには動けない状況がまだまだ続くことが予測されるが、その中でも出来る形を探りながら必要な取り組みを進めていけるようにしていきたい。

昨年度3名・今年度1名の新任職員については、引き続き育成期間と位置付けて研修等を進めて行くと共に、将来的に法人の活動を継続していくために、事業長・副事業長を含め「これからのてくてく」を念頭に置いた運営体制を考えた取り組みを進めて行く必要がある。

II. 今年度の取り組みにおける重点課題

1. 新型コロナウイルス禍中での事業継続のために必要な対応を行う。

- 引き続き必要な支援を継続して提供できるよう、新型コロナ感染症防止対策を徹底して行う。
- 感染症対策の強化やBCP（事業継続計画）の策定が報酬改定により義務化（今年度含め3年間は経過措置期間）されたことを踏まえ、取り組みを進める。
- 継続して処遇改善加算Ⅰ・特定処遇改善加算を取得する。
- 各種助成金等の情報を収集し、可能なものは活用する。
- （「重点課題2」とあわせ）職員育成及び登録スタッフ確保・育成を進め、提供できる支援を拡充することにより、収入増をめざす。

2. 人材確保・育成を引き続き最重点課題と位置づけ、法人全体で取り組む。

- てくてくキャリアパス制度を踏まえ、新人・中堅・管理者それぞれのレベルでのスキルアップをめざし、個別の計画に基づく職員育成（研修・面談等）を実施する。
- 新任層職員の育成について、メンバー支援にかかるスキルの向上を目指すとともに、法人職員としての業務の習得を中心に研修を進める。
- 登録スタッフ（ヘルパー・世話人・支援員）の確保に向けて、「てくてく」全体で取り組む。資格要件のある支援にかかる研修受講を進める。

3. 「あつとホーム」の「建て貸し方式」による移転を進める。

- 関係機関・事業者と連携を取り、具体的な検討を行う。
- 2023（令和5）年度中に一箇所以上の新規ホームへの移転を目指して、引き続き取り組む。

4. てくてく「中長期計画」の策定について。
 - コロナ禍の収束が当面見込めない状況を踏まえ、検討方法の見直し（書面やリモート会議の活用等）を含め、あらためて今後の検討スケジュールを立て直す。
5. 各事業の支援を継続して実施する。
 - 新型コロナウイルスにかかる国の「利用者に対して必要な各種サービスが継続的に提供されることが重要」という方針を踏まえ、提供困難なものを除き、可能な限り実施する。
 - 事業を安定的に継続させるために、加算や補助金等を最大限活用する。
 - 相談支援を継続していくための支援員体制のあり方と確保の方法について検討する。
 - 新規の利用希望については、相談支援等関係機関との連携を基に緊急性・必要性を把握し、支援体制の確保状況を踏まえて可能な限り対応する。
 - 「強度行動障害支援者養成研修」「相談支援従事者研修」「サービス管理責任者等研修」「虐待防止・権利擁護研修」等、事業実施に必要な研修の受講を出来る限り進める。
6. 「より良い支援」を目指して、研修を充実させる。
 - 「障がい者虐待防止」や「身体拘束適正化」に係る委員会の設置や研修の実施が報酬改定により義務化（今年度は経過措置期間）されたことを踏まえ、来年度に向けた準備を進めつつ、研修等できることから取り組んでいく。
 - 個々の障がい特性やニーズに応じた支援に必要な知識・技術を高めるための研修について、コロナ禍の中でも情報収集に努め、専門的な機関・団体等（自閉症eサービス、医療的ケアネット等）との連携により進める。
 - 「フォーラム」「全体研修」「拡大版登録スタッフ研修」については、コロナ禍の収束が見えない現状では従来の集合型の研修としての実施は困難なため、通常の登録スタッフ研修の活用等少数人数での研修を、実施方法を工夫し可能な形で実施する。
 - 個別の職員育成・研修計画の策定と、計画に基づく研修と評価を実施する。
7. 乙訓圏域や全国の情勢・制度の動向について情報を収集するとともに「てくてく」からの課題の発信を行う。
 - コロナ禍の中でも、乙訓圏域で「てくてく」に期待される役割に応え、出来る形で主体的に参画する。
 - インターネット・紙媒体それぞれの特性を活かし、広報活動を積極的に行う。
 - 全国の障がい福祉関係団体等との連携を図り、情報収集を行う。

以上

2. 事業計画及び活動の実施予定

事業名	サービス種別	目標数値	給付費予定額 (単位：千円)	実施期間・時期	場所	受益対象者の 範囲及び人数	
にこりん	居宅介護	延べ8,280人 延べ8,060時間	55,388	令和3年4月～ 令和4年3月	乙訓地域 及び京都市 (桂川西岸地域) ※日帰りできる範囲	利用者 70名	職員・登録 スタッフ 65名
	重度訪問介護	延べ2,544人 延べ6,953時間	25,254				
	行動援護	延べ261人 延べ930時間	4,676				
	移動支援	延べ370人 延べ1,210時間	2,706				
	入院時 コミュニケーション支援	予定無し	0				
あっとホーム どんぐり ジャンプ つばさ 翔 たんぼぼ城の里	共同生活援助事業	延べ6,450人	54,521	令和3年4月～ 令和4年3月	長岡京市井ノ内	女性5名	職員・登録 スタッフ 80名
				令和3年4月～ 令和4年3月	大山崎町高麗田	男性4名	
				令和3年4月～ 令和4年3月	向日市上植野町	女性4名	
				令和3年4月～ 令和4年3月	長岡京市今里	男性4名	
				令和3年4月～ 令和4年3月	長岡京市城の里	女性4名 (体験利用1名)	
あっとハック いちもんばし	短期入所事業	延べ960人	11,487	令和3年4月～ 令和4年3月	長岡京市一文橋 (みんなの家1階)	利用者38名	職員・登録 スタッフ 23名
	緊急一時保護事業	—	—	令和3年4月～ 令和4年3月	長岡京市一文橋 (みんなの家1階)	利用者0名	職員・登録 スタッフ 23名
あっとハック しろのさと	短期入所事業	延べ132人	1,771	令和3年4月～ 令和4年3月	長岡京市城の里 (あっとホーム たんぼぼ城の里内)	女性4名	職員・登録 スタッフ 15名
ばれっと	相談支援事業	延べ88件	1,250	令和3年4月～ 令和4年3月	乙訓地域及び京都市 (西京区)	利用者14名	
収益事業	賃貸事業	12か月	1,440	令和3年4月～ 令和4年3月	向日市上植野町	女性4名	
	私費利用	延べ102人 延べ78時間	200	令和3年4月～ 令和2年3月	乙訓地域及び京都市 (桂川西岸地域) ※日帰りできる範囲	男性1名 女性2名	

活動名	内容		実施期間・時期	場所	受益対象者の 範囲及び人数
地域力活性隊 コロぼっくる	地域力 プロジェクト	みんなの交流会（ぼたろう祭り準備）	令和3年9月	みんなの家	メンバー ボランティア
		バンド	音	令和4年1月	ホテルエミナース
親睦活動	プロジェクトつなぐ	ぼたろう祭り	令和3年10月	みんなの家	利用者・家族・関係者 登録スタッフ・職員・近隣住民
		たまぼっくる	令和4年1月	洛西エミナース	利用者・家族 登録スタッフ・職員
研修会	てくてく全体研修会		令和4年3月	バンビオ	登録スタッフ・職員・家族
	てくてくフォーラム		中止		
	登録スタッフ研修会		令和3年12月頃	バンビオ	登録スタッフ・職員
	ヘルパー研修会		毎月開催	みんなの家	登録スタッフ・職員
	あっとホーム世話人研修会		毎月開催	各グループホーム みんなの家	登録スタッフ・職員

役員退任及び選任について（案）

第10期役員について、以下の通り退任及び選任する。

1. 退任

中西正人 任期 2021（令和3）年6月30日迄

2. 選任

小梶朋子 任期 2021（令和3）年7月1日から2022（令和4）年6月30日迄

第10期役員（五十音順・敬称略）
2021年7月1日～2022年6月30日

	氏名	備考
理事	尾瀬 順次	
理事	木下 博史	
理事	小梶 朋子	
理事	中根 成寿	
理事	中野 史子	
理事	中矢 裕紀子	
理事	三宅 義貞	
監事	今井千代子	
監事	竹田美津子	

「てくてく」が「めざすもの」(理念)

「てくてく」として「大切にしていきたいこと」(基本方針)

2015年 6月 6日策定

○「てくてく」が「めざすもの」

「てくてく」は「誰もが住み慣れた地域で、いきいきと自分らしく暮らし続けることができる街づくり」をめざします。

○「てくてく」として「大切にしていきたいこと」

「てくてく」は「めざすもの」の実現に向かって、下記のことを大切にしながら取り組みを進めていきます。

- ① メンバー一人ひとりが「生活の主体・主人公」として、「その人らしい自立生活」「望む暮らし」を実現できるよう、常にメンバーの思いに寄り添いながら支援します。
- ② メンバーが一人の住民として、どんなしょうがいがあっても当たり前前に暮らしていける地域作りに向けて取り組みます。
- ③ 家族やかかわる方々との連携を大切に、メンバー一人ひとりの暮らしを支える「人の輪」をつくります。
- ④ メンバーと共にあることを通して「てくてく」に集い働くすべての人たちが、皆楽しく生き生き過ごせるよう取り組みます。
- ⑤ 制度を活用しつつ、制度の枠にとらわれない自由な発想で活動を展開します。
- ⑥ 地域に向けて常に情報や課題を発信し、様々な人たちとの協働を通して、しょうがいのある人たちを「地域で支える力」の向上に貢献します。